

# さようなら原発 越谷連絡会

会報 No.32

●発行 さようなら原発越谷連絡会 編集委員会

●連絡先 〒343-0023 越谷市東越谷 1-5-17 TEL&FAX 048-962-8052 <http://sayonarakoshi.jimdo.com/>

- さようなら原発越谷連絡会は、再稼働反対国会前抗議行動（毎金曜日）と、第3金曜日には、越谷独自の集会とパレードを行っています。
- 第3を除く金曜日は新越谷駅上りホーム後方（越谷駅寄り）に、16時半集合・出発しています。
- 独自に国会前に向かわれた場合は、国会正門から見て左側歩道の国会に近い場所を定位置にしています。

- 第3金曜日の、越谷独自行動（3金脱原発越谷行動）は、越谷市役所東側の中土手広場に18時集合・開始で、どなたでも発言自由のアピールタイム。歌や楽器でのアピールもOKです。こののち、越谷駅までパレードをしています。誰でも、どなたでも参加していただける集会・パレードです。ぜひ、ご参加ください。
- お問い合わせは080-1229-3661(飛山) / 080-5670-7117(増田) / 090-4010-1334(石山) まで

## 3月21日(第11回)も寒かった。



寒い上に強風、先頭の横断幕も風にはたためて、苦勞しました。3連休の初日、3日前には春一番が吹いたというのに、冬の寒さ。そんな条件下ではありましたが、43人が参加、元気にパレード。初めての試み、メロディコール（歌うコール）も披露されました。

## 2月21日 第10回



ところどころに雪が残っていました。この日も寒くて……。参加者は48人。

●参加レポート

## 3・9 NONUKES DAY 原発ゼロ大統一行動に3万2千人！

3月9日午後1時からの日比谷野外音楽堂の「原発ゼロ・大統一行動」に、越谷の皆さん20数人と私（全日本年金者組合の埼玉県本部役員として）は参加しました。集会後は午後3時半からの国会議事堂前の集会にも参加して、民主党、共産党、社民党などの国会議員、原発立地県からの参加者などの原発再稼働反対の挨拶を聞きました。国会議事堂前の集会には、国会請願デモ、国会大包围行動の参加者が集まり、原発再稼働反対、原発をなくせの声を力強く上げていました。国会周辺の道路には、人が溢れて原発ゼロを求める熱意が感じられました。「3・9 NONUKES DAY」に前後して、1週間に同様な行動が全国で146カ所、台湾、ドイツなど海外でも7カ所で行われました。

日比谷野外音楽堂の集会では、いわき市の市民団体事務局長の鈴木さんは「原発事故は現在進行形です。今後30年、40年と事故の重荷を負うのは、子どもたちで、大人たちが本気で子どもたちを守るために立ち上がってほしい」と訴え、福島県の全原発の廃炉を求める会の名木さんは「首相はオリンピック招致の中で、福島県は東京から250キロ離れているから大丈夫と発言した。どういう頭の構造をしているかわからない。運動が成就するまで老骨に鞭打ち皆さんと頑張る」と述べました。福島県楢葉町の住職の早川さんは「30代目の住職。孫が寺の跡を継ぐことを楽しみに

してきたが、寺は私の代で終わります。原発事故はこれまでの人生と将来を奪い尽くします。原発ゼロを実現するために闘い続けま

す」と。音楽家の坂本龍一さんは「大震災の一カ月後、原発事故で苦しむ人々に思いを寄せてつくった曲を披露し、一番困っている声であげにくい人たちがたくさんいるので、その人達に寄り添って、声を届けて、聞いてもらうことをもつとしないといけないんじゃないかと感じる」と呼び掛けました。

当日、翌日のテレビのニュース、ワイドショー番組では、ほとんどこの統一行動は報じませんでした。新聞では、3月10日付東京新聞は9ページにわたり集会と原発関連の記事を掲載しました。朝日は6分の1ページの記事で報道、毎日朝日より少し小さい記事、読売、産経は全く取上げなかった。

原発事故による放射能汚染、汚染水漏れなどの深刻な状況、原発再稼働や原発の輸出などは、重大な影響を及ぼす内容ですが、政府や財界などの原子力ムラにマスメディア（東京新聞以外）が遠慮をして、大きく、詳しく報道しないことには、憤りを感じます。

私たち市民が一人でも多く近隣の皆さんへ原発をなくす運動を伝え、参加、協力を呼びかけることが、マスコミを動かす、政府の方針を変える力になると思います。「さようなら原発 in 越谷」の第三金曜日の行動と3月1日の200人参加の「3・1 さようなら原発 in 越谷」の集会とデモ行進（3月2日付朝日と東京新聞は埼玉版で報道）は、大きな運動につながる一歩と評価できます。次回は近所の方一人でも二人でも呼びかけて参加者を増やしましょう。「原発再稼働を許さない、原発をなくすために！」

（宇佐美忠利）

# 3・1さよなら原発&パレード

## 「大集会」&「パレード」 ——小雨降る中、200人が集まりました

朝から細かい雨。けっこう寒い。午後からの集会「3・1さよなら原発」越谷大集会&パレードの先行きが心配になる……。午後になっても細かい雨は上がらない。呼びかけ開始の午後1時半、越谷市役所東側の中土手広場には、既に30人ほどの参加者が集まっている。

原発も吹き飛ばしていきましよう」の呼びかけで、コールや、すっかり定着してきた「越谷かんしょおどり」、歌の練習などをしながら2時の開会を待つ。傘なしでもさほど濡れるような雨ではないが、カッパを着ている人もいる。

青森出身の司会の二人「青森シスターズ」の「そろそろ始めますよ」の少しの

んびりムードの掛け声で開会。まずは、2人で取り出した巻物を横にスクロールしていく。だんだんに「3・1さよなら原発」越谷大集会&パレードの文字が現れてくる仕掛け。3メートルほどの横幕となって、会場から拍手がわく。

N子さんの「私たちは埼玉に住んでいますが、福島の人たちが声をあげられない分、元気に思いをこめてシユプレヒコールをしたいと思います」とのリードで、「原発いらぬ!」「再稼動反対!」「福島をわすれるな!」「汚染水を止めろ!」「放射能を止めろ!」「いのちを守れ!」「こどもを守れ!」……のコールが会場いっぱい広がっていく。

呼びかけ人代表の「3・11を忘れない。みんなで楽しみながら原発再稼動反対の大きな声を

挙げていこう」の挨拶で集会スタート。

ここでIさんから「この原発集会に『反対』している人たちがここを襲ってくるようなので、大変な事が起こるかもしれない!」の爆弾発言。200人ほどに増えた会場には「!」「?」の反応とともに、一瞬緊張感が走る。しかしこれはアトラクションでコントを演じてくれる「尾米タケル一座絶対原子力戦隊スインジャー」の事。

直後、それぞれ黒、赤、青、白のコスチュームの4人のメンバーが土手を駆け下りてステージに「乱入」。アクションコントは、1人の「怪人反原発反男」に「東電」「経産省」「マスコミ」の3人のスインジャーが、あの手この手で攻撃し、脅し、すかし、果ては札束で頬をひっぱたき、「改心」させようという設定。パフォーマンスも充分、せりふも面白く、会場は大いに沸いた。最後には1対3、守勢の「怪人」にMさんとIさんが加勢してスインジャーたちに鋭く?応酬、会場からも「怪人がんばれ!」の声が飛び、とにかく、大受けだった。

この後は越谷3金行動でもおなじみの「嘘のない空を」をギターとアコーディオンのリードで合唱。「子どもたちは外に出て遊ばせません。恐怖に怯えています。そういう子どもたちをただだけ謝ればいいんでしょ。嘘だけはつかないで欲しい、そんな思いをこめて……」

つづいて埼玉東部合唱団レインボーのリードで「ふるさと」を合唱。ポリアの打楽器「ボンボ」を引っ提げたTさんの紹介からリレートークに移る。生活クラブ埼玉のSさんがトッパッター。そして子育て支援グループ



カラー写真とともに、集会・パレードの様子が報じられた翌日の「東京新聞」の紙面。「朝日新聞」にも掲載されたが、こちらはモノクロ写真

「タンポポ」のアピール、「原発いらぬ」の手遊び入りの歌、学校で読み聞かせの活動をしているTさん、新日本婦人の会越谷支部と続き、3金行動でもおなじみのNさんのコール付きハーモニカ演奏とアピール、子ども埼玉ネットワークで、市民放射能測定所を運営しているさいたま市のKさんが続く。最後は「We shall overcome」花は咲く」の大合唱、そして3・9日比谷野音集会への呼びかけ。いつも元気な青年、Yさんの力強いコールでパレードがスタートした。

コースは越谷駅を往復して平和橋に戻り、さらに生活クラブの「生活館」まで約1800メートルのコース。先導車からのコールと共にパレードの列が進む。それなりに歩き度がある。ゴールの「生活館」では手作りのトン汁とおにぎり、お茶、コーヒーの「おもてなし」。ゴール直後、急に雨脚が強くなった。

本日の参加者およそ200人。多いと考えるか、少ないと考えるか、さまざまだろう……しかし、200人集まった「生身」の人間を一望すると、やはりいたいものだと感じる。

今後につなげよう。

(服部崇)



### 特報

## ●あのスイシンジャーから「改心」のメッセージが！ 「3・11さよなら原発」越谷大集会に「乱入」して

3・11集会でのアトラクション、と聞いて真っ先に頭に浮かんだのが尾米タケル之一座による「絶対！原子力戦隊スイシンジャー」でした。でも、2週間後にライブを控えた彼らにそんな時間はないかもしれない。また、スイシンジャーで名を馳せた彼らですが、実は今、原発の看板を下ろしているのです。

「え？転向しやがった？……」ということではなく、原発問題に関心のある人と無関心な人たちの分断が進みつつある現在、敢えて無関心な人たちの中に入り込み、「おもしろいコントを見てもらって、そこで訴えていこう」という戦略です。

「今さらスイシンジャーなんてやってもらえるかな」という思いもあり、ダメもとで聞いてみると、なんと！この日「だけ」稽古がないというではありませんか。これはもう、越谷襲撃を当初から目論んでいたに違いない。しかし、よもや「怪人反原発越谷女」や、越谷男たちの反撃をくらうとは、彼らの大きな誤算であったにちがひありません。スイシンジャーどもは、豚汁も食わずに早々に逃げ帰ったのでありません。



怪人反原発男に助太刀する怪人越谷女の三人

後日、改心したスイシンジャーから以下のようなメッセージが届きました。

「3・11さよなら原発」越谷に参加させていただきます。

先日、3・11さよ

ら原発越谷に参加させていただいてまず感じたことは、主催者、参加者の方々がとても自然体であるということです。訴えている内容、そしてそれと乖離してゆく現状に、つい肩に力が入ってしまいそうなものですが、さすがは皆さん、毎月集会・パレードを開催されている猛者揃い（笑）。すっかり世間に訴える、アピールするという行為が生活の一部になっているのだなと思えました。そしてその皆さんの自然体が、そのまま集会の雰囲気になっていて、飛び入りの方でもブラッと参加しやすい空気を作っていたと思います。

出番前、僕たちが橋の下でスタンバイしている間にも、中学生や通りすがりの方々が「あそこでやるの？」「見ていこ」と声をかけてくれました。それは必ずしも僕たちが身に纏ったカラフルな全身タイツのせいばかりではなかったと思います（笑）。みなさんの温かい雰囲気は少しずつ少しずつ、街に浸透しているのではないのでしょうか。

こういう状況を作るまでには主催者の方々は大変な苦勞をされた事と思えます。また、これを継続してゆくことはさらに大変な苦勞をされる事と思えます。

しかし、これまで皆さんや、全国にいらっしゃる皆さんのような方々がなってきた事は確実に実っていると思えますし、これから行うことも確実に実ってゆくことと信じています。

今後も、主催者の方々、参加者の方々共には非とも「さよなら原発 in 越谷」、地域密着型のアットホームな会を継続して頂きたいと思えます。

最後になりましたが、楽しく、温かく、貴重な経験をさせて頂いたこと、一座を代表して御礼申し上げます。（尾米タケル之一座）

<http://www.okometakeru.com/index.html>

（五十嵐由里子）

付記 今集会の呼びかけ人は132人の多きにわたりました。また、ビラの配布などには、個人、団体、グループ様々な方にご協力をいただきました。生活クラブ「生活館」には場所の提供とトン汁、おにぎりの調理をしていただきました。みなさま一人ひとりに感謝申し上げます。

「さようなら原発越谷」のホームページをご存知ですか？「CR」は1面タイトル下にあります。ブログ、フェイスブック、ツイッターへもリンクしています。

# さようなら原発川越パレード

- 日時 2014年4月5日(土) 15:00集合 15:30出発 ●場所:川越駅東口・緑地公園 (川越市駅よりの踏切脇)
- 主催:さようなら原発川越の会 [http://blogs.yahoo.co.jp/sayonara\\_nukeskawagoe](http://blogs.yahoo.co.jp/sayonara_nukeskawagoe)
- 連絡先:田中重仁法律事務所・049-226-6171

# 第9回さようなら原発東松山パレード

- 日時:2014年4月19日(土) 17:00集合 ●場所:東松山箭弓町第一公園
- 主催:さよなら原発東松山の会 <http://sayonara-matu.jimdo.com/> <https://www.facebook.com/nonukesmatsuyama>

# 「福島を忘れない!止めよう柏崎刈羽原発再稼働!」東京集会

- 日時:2014年4月12日(日) 14:00~17:00 (13:30分開場)
- 場所:日比谷図書館コンベンションホール(東京都千代田区日比谷公園1-4 <http://hibiyal.jp/hibiya/index.html>)
- 主催:柏崎刈羽原発運転差止め訴訟原告・弁護団 柏崎刈羽原発運転差止め市民の会 (新潟市中央区白山浦1-238-6 tel / fax 025-383-6335)

## 「越谷ツイッター事件」その後

12月越谷市議会で、秘密保護法の慎重審議を求める意見書の緊急提案を自民党市民クラブ、公明党市議団の反対によって提案すら認められなかった件について、辻浩司市議が「不当な反対」とツイッター上で批判をしたところ、「辻浩司議員に反省を求める決議」が提案され、大紛糾の末、可決されたのは前号でお知らせしました。

「多様な意見があるのが民主主義であり、表現の自由を奪うことは議会の自殺行為ではないか」「議員の自由な発言を封じることが、市民の不利になる」

そう考える市民が「越谷ツイッター事件を考える会」を結成。この反省決議「撤回」のための請願署名運動を1月末から開始しました。3月議会開会前のわずか3週間足らずで、条件として署名には印鑑が必要であったり、駅頭での署名活動では3回も雪に見舞われたりして困難を極めました。越谷市内にとどまらず全国から署名が集まり、最終的には3728筆の請願署名をもって提出されました。

震災と原発事故から丸3年目の3月11日、総務常任委員会で請願審査が行われ、56名の市民が傍聴に駆け付けました。請願団体メンバーの小口高寛さんは議員を相手に「表現の自由を議会が封じるのは誤り」と説明。議員からの「議会が正式に議決したことを撤回することこそ、

## ちよつと「過激」なことを言います

国会はおじさんたちの茶番劇。原発セーラムスマンの安倍晋三。都知事には原発を推進し、女性を蔑視する舛添要一がなつてしまった(またまたムサシとやらが活躍したのでしようか)。仲間ができて、ますます問題の多い暴走族となりそう

な安倍政権。特定秘密保護法の成立によって、原発事故の現状はヒ・ミ・ツ。そろそろ「天地の摂理」が働いて、安倍

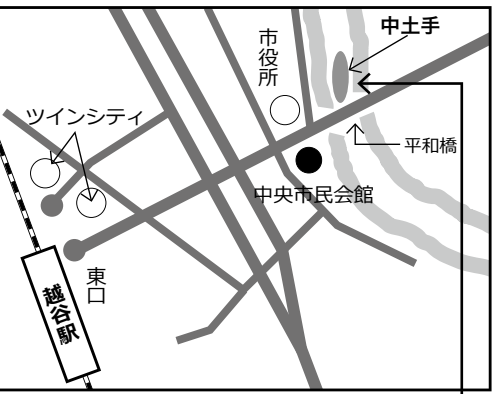


「3.1 さようなら原発 in 越谷大集会」で司会を務める五戸順子さん(左)と宮前真知子さん。二人は「越谷3金集会」でも、司会の大役を果たしています。同じ青森出身の二人が自称する「青森シスターズ」の知名度は上がるばかり。いつもありがとうございます。(五戸順子)

議会の自殺行為ではないか」といった質疑には、請願者は、「議会が議決した手続きに誤りがあるわけではないが、内容は間違っていると思うので考えなおしてほしい」という趣旨などと応じました。その他にも様々な質疑がありました。請願者は一貫して、表現の自由は民主主義の根幹をなす価値であることや、議員の自由な言論に制裁を科すことは存在そのものに対する制裁であり看過できないことなどを繰り返して訴えました。審査は約4時間の時間を要しました。

採決の結果、賛成4、反対3で、請願は可決・採択されました。議会が一度議決したことを市民が再考を促す請願を出し、それが委員会ではいえ、可決されるといふのは、異例のことです。

請願は、18日議会最終日の本会議に上程され、改めて議員全員で採決がなされましたが、結果は残念ながら、賛成14、反対15の賛成少数で否決されました。越谷ツイッター事件は単に一市議の個人的な問題ではありません。原発汚染水やSPEEDIの情報が隠されてきた日本の国で秘密保護法が成立



越谷市役所東側  
中土手広場(平和橋下)です。  
午後6時。待ってます!

## 集会の場所が変わりました

したことは何を意味するでしょうか。そして越谷市では、秘密保護法に関連して批判をした市議に「反省」が求められていることは、同じ線上にある問題ではないでしょうか。

原発をなくすためには、都合の悪い情報から国民の目や耳をふさぎ、口を封じる社会を変えていくこともしていかなければならないのではないのでしょうか。

(編集部)